

# 読書の輪

(第41号 2017年10月)



発行/NPO法人ながれやま葉

(理事長 佐藤奈津代)

<http://www.nagareyamashiori.org>

＝読書活動団体や市民相互間の情報交換広場＝皆様からのご投稿をお待ちしています。

## 『私の好きな小品』

本を読もう流山の会 喜多 弘

若い時から好きで、折に触れて読み返す小品に、有島武郎の『小さき者へ』が有る。この作品は岩波文庫と新潮文庫に収められて居り、それぞれ20頁と27頁であるが、後者の方が活字が大きめで読み易い。大正7年(1918年)に「新潮」新年号に発表されたもので、有島40歳の時の作である。作者は大正6年12月7日朝から書き始め、同日の夜2時(8日早朝)に書き上げたという。

内容は、結核で母を失い、父と共に残された、6、5及び4歳の三人の男の子に宛てた父の手紙の形で記されている。7年前北海道でも珍しい吹雪の夜の明けがた3時から母に陣痛が起こり、翌日午後3時に長男が誕生した。その後父と母は更に2人の男の子に恵まれた。しかし母は結核に侵され、三人がそれぞれ4、3及び2歳の時入院したが、子供達には病名は伏せて置かれた。結局一家は上京し、母は鎌倉海岸で療養することになる。母は一旦小康を得るが、風邪から病状が悪化し、平塚海岸の病院に入る。しかし1年7ヶ月後に、母は子供達がそれぞれ上述の年齢の時に

天に召されてしまう。母は子供達の心に傷を与えたくないとの思いから、子供達に会うことなく彼岸に旅立ってしまう。有島武郎の筆は、如何に母が子供達に海の如き深い愛情を注いでいたかを、熱を込めて記す。また貧困の為母のように行き届いた看護を受けられず、薬の代わりに宗教に頼らざるを得なかった知人のU氏のことにも決して忘れてはならぬと諭す。

この作品は次のように結ばれている。

『小さき者よ。不幸なそして同時に幸福なお前たちの父と母との祝福を胸にしめて人の世の旅に登れ。前途は遠い。そして暗い。然し恐れてはならぬ。恐れない者の前に道は開ける。

行け。勇んで。小さき者よ。』

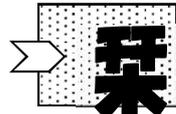
長男は俳優の森雅之である。映画『雨月物語』や『羅生門』、大河ドラマ『縦の木は残った』、『新平家物語』など数々の作品を御覧になられた方も沢山居られると思う。有島武郎は三人の子供達の立派に成長した姿を見ることがなく、45歳で波多野秋子と情死してしまったのは、残念としか言いようが無い。

**声** 今のITの流れの変容はこれまでとは別次元。理解が追いつかない状況にあり、「縄文人の私にはなかなか…」と言い訳する日々。一方縄文の人々が残した用具や文化の中には、人を超えた神々しさを内包しているのが少なくない。何事も天の意と素直に受け入れた古代人の精神を前に「縄文人の私には…」はもう言うまいと思います。(佐藤奈津代)

## 読書会活動等／地域情報

団体名	開催日時	場所	申込み	テーマ・課題	連絡・問合せ
あらた新読書会	10月26日(木) 13:00~	北部公民館 第1会議室	事前連絡お 願いします	朝井まかて著『恋歌(れんか)』(講談社)	井上(☎04-71 52-2947)
流山読書会	11月8日(水) 13:30~	中央図書館 会議室	不要(直接 会場へお越 し下さい。)	姜尚中著「心」(集英社)	久保(☎04-71 59-4608)
本を読もう 流山の会	12月2日(土) 13:30~	中央図書館 会議室		瀬戸内寂聴著『死に支度』 (講談社)	鈴木(☎04-71 50-3583)

＝読み聞かせの葉＝



# 葉 おはなし活動

＝読書活動を推進する葉＝

予約なしで、ご参加頂けます。直接会場にお越しください。(入場料は無料です)

## 【図書館おはなし会】

\*中央図書館  
\*森の図書館  
毎週土曜15時から

## 【赤ちゃんおはなし会】

～森の図書館～  
第1日曜と第2火曜  
11時～(50分間)  
(内容は月替わり)

## 【分館おはなし会】

\*南流山分館  
第1・2土曜15時～  
(第3・4も別団体が開催しています)

## 【赤ちゃんおはなし会】

～南流山センター～  
10:30～(11:30頃迄)  
10/18・11/22・12/13  
1/24・2/21・3/28



## おはなし会プログラム紹介 6

### 【授業おはなし会/45分】

図書館のおはなし会は、始まるまで何歳の子が何人集まるか分かりませんが、学校お話し会は学年毎に分かれている分、選書がしやすくなります。科学絵本を取り入れたり、学校行事に合わせた内容にする事も。読み手が読んであげたい話、聞き手が聞きたい話、それらが重なるお話を最適なタイミングで届けられる様に配慮しています。最後まで楽しく聞いて貰える様にプログラムのバランスも大切にしています。

＜ある年の3年生・1学期プログラム＞

1. 絵本「こんとごん てんてんありなしの巻」
2. 絵本「おっきょちゃんとカッパ」
3. 科学絵本「にんじゃあまがえる」
4. 手あそび
5. 絵本「教室はまちがうところだ」
6. 紙芝居「じろうまるのはなし」

葉の読み聞かせ活動は、図書館をはじめ小学校・子育て支援施設・子育てサークル・地域イベント等で行っております。



## 地域情報

「文学散歩 神田古本まつり～豆本の  
呂古書房からブックハウスカフェへ～」

日時：10月27日(金)

行程：JR柏駅南口切符売り場／9時30分

集合→大手町→神保町→呂古書房・  
ブックハウス→解散(お昼頃)

交通費：片道580円

主催：東葛飾地区母親読書センター

申込&問合せ：FAX04-7166-5244 尾河

(申込み締切は10/24)



### ながれやま葉(しおり)のご案内

わたしたちは、地域の文化振興に少しでも役立つことを願い、書架整理や絵本の読み聞かせ、地域の草花の世話など、身近なところから会員同士が楽しみながら力をあわせております。本や人との出会いの喜びをご一緒に分かちあいませんか？入会は随時受け付けております。**[ 入会・問合せ先/佐藤：Tel&Fax 04-7152-0066 矢口：Tel&Fax 04-7145-4868 ]**  
葉事務所/流山市若葉台3-131 (ふれあいの家/えがお内)